

## 職員による自己評価

## A業務改善

- ・アンケートを参考に各職員が結果を次年度に反映し業務内容が向上するよう努めている。
- ・保護者の希望を日々の面談や連絡帳で把握し業務の改善につなげている。
- ・職員各自の目標を設定しそれに応じた研修を内部、外部を含め積極的に設定している。

## B適切な支援の提供

- ・支援開始前に必ず打ち合わせを行い内容や役割分担を確認のうえ保育を実施している。
- ・支援を行うにあたり常に記録の共有や活動の見直しについて意識し毎回振り返りをしている。

## C関係機関との連携

- ・就園先への巡回を実施した。感染症対策として訪問時間を短縮する対応を継続しつつ、就園先との連携をおこなった。
- ・利用児就園先の先生方を対象に、パレットでの取り組みを知ってもらうための研修会を実施した。先生方が参加しやすいよう、日程に考慮しておこなった。

## D保護者への説明責任等

- ・年2～3回の個別面談で支援計画の説明を行い、毎回の保育後には連絡シートで相談に応じている。

## E非常時等対応

- ・保護者に対しては、重要事項説明書やしおりに記載し説明を行っている。

## 保護者による評価

## A適切な支援の提供

- ・9割以上の方から適切とのご意見をいただいた。  
「毎回、違ったプログラムで子どもも飽きることなく楽しく通えた」「子どもの特性に合わせた計画が立案され、それに沿った介入が実施されている」等の評価をいただいた。

## B保護者への説明等

- ・日頃の対応については、「面談が定期的に行われており、何かあった際には面談以外でも話すことができている」、「少し気になる事などを話せる雰囲気があり、些細なことでも相談しやすい」等の意見をいただいた。一方で「保護者と職員とのやりとりが少ない」とのご意見もあった。
- ・懇談会等での保護者どうしの連携への支援については、「同じ境遇の保護者と知り合いになることができ、孤独感が減った」という意見をいただいた。
- ・職員が行う療育中の子どもの様子に関する報告の方法について、保護者の立場からのご意見をいただいた。

## C非常時等対応

- ・避難訓練等に関しては、8割以上の方から適切との回答をいただいた。

## D満足度

- ・9割を超える方から支援に関して満足しているという評価をいただいた。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・適切な支援の提供、保護者への説明等については昨年に引き続き高い満足度を得られている。この結果から日々の療育や保護者とのやりとりについては、一定の水準で行えていると考える。
- ・運営規程、個人情報取り扱い、利用者負担等に関しては、説明の時間を設定し周知に努めてきた。今後も運営に関して丁寧な説明を心掛けていきたい。

## 【相違点】

- ・緊急時マニュアル等については、避難訓練時の説明や、保護者がいつでも閲覧できるようにする等して周知に努めたが、今後も非常時等の対応については、丁寧に説明を行っていきたい。

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・子どもの発達状況を確認し常に活動内容を向上させるべく改善に努めている。
- ・職員は日常的に保護者にプログラムについて説明し活動の目的を理解してもらえるように配慮している。毎回のフィードバック、個別支援計画の説明、個人面談を通して丁寧な情報提供を心がけている。
- ・職員間でも常に情報を共有し保育の振り返りや支援内容の検討を行っている。保護者に対しても子どもの状況を伝え、課題について共通理解を図るように努力している。
- ・常に保護者の子育ての悩みに適切に応じられるよう事業所以外のセンターの関係職員とも連携をとっている。

### 事業所の改善点

- ・非常時等のマニュアルについては、今後も保護者に向けて分かりやすく説明していく必要があるため、方法について検討する。
- ・今年度もテーマを設け、保護者へのプログラムを実施した。懇談会等は、保護者同士が交流する機会にもなっているが、保護者連携への支援については、今後も引き続き、保護者のニーズの把握に努めていきたい。また、保護者への説明や報告の方法に関しても意向の把握に努めていきたい。
- ・今後もパレットの利用に関する説明を分かりやすく丁寧におこなっていく。

### 事業所の改善への取り組み

- ・今年度も保護者勉強会の開催については、動画配信で行う等、利用しやすい方法を模索しながら行った。次年度以降も保護者が利用しやすい方法を検討していきたい。
- ・非常時等の対応や利用に関する説明は丁寧に行い、利用される方のご意見やご質問に応えられるようにする等、今後も事業所運営について改善努力を続けていきたい。
- ・保護者同士の連携の場については、勉強会、懇談会のなかで対応しているが、今後も保護者のニーズや意向の把握に努め、保護者連携を支援していきたい。

#### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回のアンケートにつきましては多くのご意見をいただきありがとうございました。

再考する機会をいただき、日々の業務について見直すことができたことに感謝いたします。また、アンケートにご協力いただいた保護者への皆様に御礼申し上げます。当事業所に関しては、個別的な支援の提供に対して高い満足度を得た事は大きな励みとなりました。このアンケート結果を次年度の運営に反映し、より良い事業所を目指します。

今年度も保護者の皆様のニーズを踏まえた療育の形態や方法を模索しながら行ってまいりました。お子さんと保護者の皆様から1年間通所し、満足のお声をいただけた事をとっても励みに思っております。次年度も引き続き日々の支援に取り組むとともに専門性の向上に努力してまいります。

事業所名 : 横浜市東部地域療育センター 児童発達支援事業所「パレット」

担当者 : 児童発達支援管理責任者 照井泰弘